第1学年　単元名：ソフトボール　（８時間）　　指導と評価の計画

単元の目標	知識及び技能	(1)次の運動について，勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。 ウベースボール型では，基本的なバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすること。
	思考力、判断力、表現力等	(2)攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
	学びに向かう力、人間性等	(3)球技に積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどや，健康・安全に気を配ること。

単元の評価規準	知識	技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり，それらを身に付けるためのポイントがあることについて言ったり書き出したりしている。 ②球技には，集団対集団，個人対個人で攻防を展開し，勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて言ったり書き出したりしている。 ③対戦相手との競争において，技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて言ったり書き出したりしている。 ・学校で行う球技は近代になって開発され，今日では，オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていること。 ・球技は，それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なること。	①投球の方向と平行に立ち，肩越しにバットを構えることができる。（基本的なバット操作） ②地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。（基本的なバット操作） ③決められた守備位置に繰り返し立ち，準備姿勢をとることができる。（定位置での守備） ④スピードを落とさずに，タイミングを合わせて塁を駆け抜けること。（走塁） ⑤打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。（走塁） ⑥各ポジションの役割に応じて，ベースカバーやバックアップの基本的な動きをすることができる。（定位置での守備） ・投げる腕を後方に引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し，体重を移動させながら，大きな動作でねらった方向にボールを投げること。 ・ボールの正面に回り込んで，緩い打球を捕ること。 ・守備位置から塁上へ移動して，味方からの送球を受けること。	①仲間と話し合う場面で，提示された参加の仕方に当てはめ，チームへの関わり方を見付けることができる。（課題発見） ②自己やチームの課題を把握し必要な練習を選んで進めることができる。（課題整理・工夫）（例示外） ③練習やゲームの場面で，最善を尽くす，フェアなプレイなどのよい取組を見付け，理由を添えて他者に伝えることができる。（課題解決） ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えること。 ・提供された練習方法から，自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶこと。 ・学習した安全上の留意点を，他の学習場面に当てはめ，仲間に伝えること。 ・仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けること。 ・体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け，仲間に伝えること。	①健康・安全に留意している。 ②練習の補助をしたり仲間に助言したりして，仲間の学習を援助しようとしている。 ③作戦などについての話合いに参加しようとしている。 ④マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして，フェアなプレイを守ろうとしている。 ・球技の学習に積極的に取り組もうとすること。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとすること。

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	メモ
目標	バッティングの基礎を理解し正しいフォームで打てるようになる	試しのゲームで守備位置を理解し準備姿勢をとれるようになる。練習したバッティングを試合でためしてみる。	仲間と協力しながらバッティング技術を高める。	ベースランニングを身につけてより多く点を取れるようになる。	失点を防ぐ方法を分析する。	失点を防げるようにチームで協力して取り組む。	これまでの練習の成果を活かして試合に取り組む。	これまでの練習の成果を活かして試合に取り組む。	・チームは４チームで行う ・各チーム半分で兄弟チームにする。思考等の話はグループで行う。 パターン 満塁 ２・３塁 １・３塁 １・２塁 １塁 ２塁 ３塁 ７パターン
学習の流れ	○安全の確認。 Q：ベースボール型（BB型）ではどんな道具を使う？ ・ボール、バット、グループ Q:どんなことに気をつけて授業をしていく？ ・ボールを散らかさない。 ・バットを振る前は周りを確認する。 Q:BB型の特徴は？どんな場面が楽しそう？ ・攻撃と守備がはっきりと分かれている。 ・バッティングで気持ちよく打つこと！ ーーーーーーーーーー 基礎を身に付け思いっきりバッティングしよう ーーーーーーーーーー ○バッティングの基本説明 ❶投球方向と並行に立つ ❷肩越しにバットを構える ❸地面と水平にバットを振り抜く ○正面トスバッティング？ ・１１～１４箇所？ ・カラーボールで実施 ・安全の配慮として横との距離を確保、バットを振る前に周りを見る。	○W-UP カラーボール・ティーバッティング（3人1組で実施） ①周りの人との距離感を必ず確認する。②１０球で交代。③バッター→トサー→ネクスト 来た人から始める！１球でも多く打って上達しよう！（来た人から始まるような工夫を！！） Q:ベースボール型においてバッティングは〇〇を取るための手段。→得点 ーーーーーーーーーー 練習で身につけたバッティングを活かして試しの試合で得点を取ろう ーーーーーーーーーー ○試しのゲームの説明 ・BT→アウトカウントの概念はなし。攻撃４人（５人）で交代。 ・１イニングに最大１６点。 ・走塁→打撃後にバッターランナーとしてのみ。 ・守備→全ての類をフォースプレイとする。先の塁にボールを送って失点を最小失点に防ぐ。 ・投手→攻撃側のチームが打ちやすい球を投げる。ネットを張って安全面を担保。 ・２イニング１試合。１試合で全員が一打席立てるようにする。 ○ゲームをするにあたってポジションと準備姿勢の説明 ○キャッチボール ○試しのゲーム ・打席の映像を動画で撮影	Q:正しいスイングとは？ ❶投球方向と並行に立つ ❷肩越しにバットを構える ❷地面と水平にバットを振り抜く Q：正しいスイングはできているだろうか？ Q：よりバッティングを改善するためには？ ・お互いに見合う。 ・動画をとって確認する。 ーーーーーーーーーー 仲間のアドバイスや動画を活用してバッティングをブラッシュアップしよう ーーーーーーーーーー ○バッティング練習 ・チェックリストを活用する。 ・お互いに見合ってアドバイスしたり、動画をとって確認する。 ○振り返り ・バッティングの自己分析。	○キャッチボール Q：もっと点を取るためにはどうすればいい？（何点取れたかなどを絡める） ・もっと打てるようになる。 Q:バッティング以外に攻撃には何がある？ ・走塁 ーーーーーーーーーー 正しいベースランニングとバッティングのブラッシュアップでもっと点を取れるようになろう ーーーーーーーーーー ○走塁練習 ・全力で走ってベースを踏んで駆け抜ける。 ・スピードを落とさずに次の塁へ進む。 ○ゲーム❶ ○ゲーム❷	○ゲーム❶ Q：満足いく試合ができた？ ・たくさん点を取ることはできたけど、たくさん点を取られた。 Q:点数を最小限にするためにはどうすれば良いだろう？ ーーーーーーーーーー どうすればチームで協力して最小失点にできるかを考えよう ーーーーーーーーーー ○ゲーム❷ ・どうやったら点を最小限にできるか分析 ○分析したことをチームでまとめる ○学級で共有してベースカバーバックアップで失点を減らせることに繋げる。 動画を見せて気づかせる？	OR 手ゴロキャッチ&スロー（２箇所３ポイントで実施） ①周りの人との距離感を必ず確認する。②１０球で交代。③バッター→トサー→ネクスト 来た人から始める！１球でも多くとって投げて上達しよう！（来た人から始まるような工夫を！！） ○前回、ベースカバーやバックアップで失点を減らせるということに気づいた。 ーーーーーーーーーー 得点以上に失点しないようにバックアップやベースカバーができるようになろう ーーーーーーーーーー ○約束練習 いくつかの大夫方向を提示し、その時にどう動けばいいかを反復練習する。 ○ゲーム❶ ○バックアップの動きを振り返る	Q:これから2時間のゲームをどんなゲームにしたい？ ・たくさん点を取る ・失点を最小にする ーーーーーーーーーー 練習の成果を発揮してチームの目指す試合をできるようになろう ーーーーーーーーーー ○ゲームプラン、目標の設定 ・チームごとにこれまでの課題練習を踏まえてゲームプラン、目標を設定する ○ゲーム❶ ○チームミーティング ・設定したゲームプランや目標に向かってプレーできているかを確認 ○ゲーム❷	○ゲームプラン、目標の確認 ○ゲーム❶ ○ゲーム❷ ～単元を通して目指す姿～ ヒットを打ち、点を取る喜びを実感しもっとやりたいという気持ちをもっている姿。	■ 全国大会の授業づくりに参考に!!(河合先生の代わりに質問を。大山実践につながるヒントもゲット）（河合 T)ソフトボール1年で、指導要領では「攻撃を重視し、易しい投球を打ち返したり、定位置で守った りして、攻防を展開する」ことが書かれているが、バット操作と走塁にフォーカスして授業を構築しようと考 えている。走塁にフォーカスするのはいかがでしょうか。 Ans.(佐藤先生)◉まず、「走塁にフォーカスする」ということは「ソフトボールを教えている」でしょ、という感覚を大切に その概念から一旦離れないと、中学校の授業で「わからない・できない」で運動嫌いになる子どもが増える つまり、ベースボール型の醍醐味は「ノーガードで打つ!当てて飛ぶ!いっぱい点を取るイメージ」。それを味わうためには走塁の判断や正規のルールが本当に必要?その考えって、専門家だから気になっているだけで、それを気にせず、ベースボール型に浸ることが出来るのであればいい。走塁や守備よりもまずは打撃。その中で、守備の必要性が生まれ、攻守で攻防ができれば十分。走塁のルールを突き止めちゃうとその 特性を邪魔しちゃわないかな。いっそのこと、ゴロもフライも走者は全部GO にしても OK じゃない?フォースアウトやタッチアウトも、全部タッチアウトでスッキリするよね。←あくまでも例

評価									
	知			①	②		③		総括的な評価
	技	①②	③		④⑤		⑥		
	思					①	②	③	
	態	①		②		③		④	

授業の概要	BTの基礎とBT練習	BT練習と試しのゲーム	バッティングのブラッシュアップ	走塁のブラッシュアップ	点を取るのはいいけど失点を抑えるには？守備の分析（課題発見）	バックアップのブラッシュアップ（課題整理・工夫）	ゲーム（課題解決）	ゲーム（課題解決）